

2017年度（平成29年度）

入学試験要項

社会人特別選考

※文学部（中国文学科）、法学部、経済学部は公募制自己推薦（AO型）に含まれる。

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文学部
日本文学科
史学科
哲学科
神道文化学部
神道文化学科

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

目 次

1. アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)	1
2. 募集人員・出願資格等	3
3. 通学キャンパス・授業時間帯(平成28年度参考)	5
4. 実施スケジュール	7
5. 受験から入学手続まで	8
6. 入学試験要項	9
7. 出願書類・出願方法	11
8. 入学志願票記入例	12
9. 入学検定料	14
(1) 入学検定料の振込について	
(2) 大規模災害等にかかる平成29年度入試志願者に対する特別措置について	
10. 学費等納付金	15
(1) 学費等納付金について 平成28年度学費等納付金額(参考)	
(2) フレックスコースの学費等納付金について(神道文化学部)	

【注 意】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課(03-5466-0141)に連絡してください。

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。志願にあたって提出された個人情報については、入学志願票の「個人情報の取り扱いについて」をお読みください。

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

※アドミッション・ポリシーについては、本学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

日本文学科は、本学ならびに本学部が定める教育方針に基づき、日本文学・日本文化への専門的な学びをふまえて、日本人としての主体性を保持した寛容性と謙虚さを身につけ、日本文化を世界に創造的に発信することのできる人材の育成を目的とする。その大きなテーマを「古典作品が読める國學院生」とし、以下の育成の目的を掲げる。

- ①日本語の基本的運用能力を身につける。
- ②日本文学・日本文化に対する理解を深める。
- ③専門的な観点から日本文学・日本文化の研究を通して新たな文化創造に参加する。
- ④日本文学・日本文化の創造的発信を行う。

これらによって、主体的な意欲と能力を持つ人材を育成する。

以上の目的を実現するために、本学科および他の諸学部・学科が開設する授業・各種プログラムに主体的に参加し学修しようとする意欲が求められる。したがって、高等学校での「古典」科目の学習を十分にしておく必要がある。また世界や日本の文化・歴史についての基礎知識や、研究成果を外国へ発信する準備としての「英語」の学習も十分にしておくことが望まれる。

【史学科】

高校生活あるいは卒業後の生活の中で、特定分野の学修に興味・関心を持ち、大学での勉学・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を迎え入れ、活気ある創造的な学問の場を創ることを目指す。入学者に求められるのは、まず一般的教養と専門的知識を学修するための基礎学力、更にはコミュニケーション能力、自己表現力、理論的思考力、自主的な学びの姿勢である。史学科で学ぶには、次の4分野の1つまたは複数について強い志望を持つことが必要である。①日本史学、②外国史学、③考古学、④地域文化と景観。入学後の学修・研究においては、史料など歴史的文献を解読することが基本となるため、高校では、古文・漢文、英語、そして日本史・世界史・地理を十分に習得していることが望ましい。

【哲学科】

哲学科は、本学ならびに文学部が定める教育実施方針に基づき、以下のような者を広く募集し、受け入れる。

- ①建学の精神を理解し、東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ②哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。また、広く文献を渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。
- ③本学科が定める教育課程の学修を十分に理解することのできる基礎的な学力を有する者。とりわけ入学までの学びにおいては、現代文および英語等の科目を中心とした学習を通して、文献の読解力、論理構築力、思考の表現力等を身に付けることが求められる。

神道文化学部

【神道文化学科】

神道文化学部では、神道を中心として国内外の宗教文化を幅広く学ぶ一貫した教育プログラムのもと、神道と日本文化の継承、その世界に向けての発信に意欲を有する志願者を求めている。

とりわけ社会人特別選考入試を目指す志願者に関しては、高等学校などで習得する科目全般に関する基礎学力はもちろんのこと、日本の伝統宗教や世界のさまざまな宗教文化を、自発的に探究する問題意識、主体的な探究姿勢が要請されよう。単に興味・関心があるというだけでなく、自らが進んで学修できる志向性の高い志

願者を求めている点を強調しておきたい。

そのためには、まず何より日本語の読解力・文章表現力が重要である。「国語総合」「現代文」等の学習を通じて、論理的な思考力・表現力をしっかりと身につけてもらいたい。

また、神道文化を学ぶうえでは、日本の歴史や思想、文化などについての総合的な理解も欠かせない。このためには、「日本史A」あるいは「日本史B」の学習が重要である。さらに「倫理」「地理A」「世界史A」等の学習を通じて、宗教文化に根差すさまざまな社会事象・国際問題に対する興味と関心を培うことも大切であろう。外国語については、「英語」ほかの学習によって、基本的な読解力・文法力・会話力を身につけていることが求められる。

2. 募集人員・出願資格等

(1) 募集人員

学 部	学 科	コ ー ス	募 集 人 員
文学部	日本文学科		2名
	史学科		4名
	哲学科		1名
神道文化学部	神道文化学科	フレックスA(夜間主)	5名
		フレックスB(昼間主)	2名

※コースの選択については、P. 5を熟読してください。

※中国文学科・法学部・経済学部の社会人入学試験は、公募制自己推薦(AO型)として実施します。公募制自己推薦(AO型)入学試験要項を参照ください。

(2) 出 願 資 格

以下の①～⑧のいずれかに該当し、かつ平成29年4月1日現在で満22歳以上の者。就業経験は問わない。ただし、平成29年3月卒業見込み者および高等学校卒業程度認定試験合格見込み者の場合は社会人経験を有すること。

- ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者、及び平成29年3月卒業見込みの者。
- ② 高等専門学校の3年次を修了した者、及び平成29年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣が指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定試験に合格した者を含む)、及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で平成29年3月31日までに18歳に達する者。
- ⑧ 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者。

※出願に際し、資格等で不明な点がある場合は、必ず入学課(03-5466-0141)までお問い合わせください。

(3) 入学検定料

35,000円	2回目 ※神道文化学部のみ (第Ⅰ期にも出願した場合の第Ⅱ期) 20,000円
----------------	--

社会人特別選考の第Ⅰ期に出願した者が、同一年度の第Ⅱ期試験に出願する場合に限り、第Ⅱ期の入学検定料を上記のとおり減免します。減免を申請する場合は、下記のいずれかを第Ⅱ期の出願書類に同封してください。

- ① 第Ⅰ期出願時の「払込金兼手数料受領書（本人保存）」
- ② 第Ⅰ期の「受験票（コピー）」

なお、次の場合は減免の対象となりませんので、ご注意ください。

- ・上記①「払込金兼手数料受領書（本人保存）」に取扱店の収納印がない、もしくは不明瞭な場合。
- ・第Ⅱ期出願書類の送付後に入学検定料の減免を申請した場合。

※災害救助法適用地域からの入学志願者に対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細はP.14を参照してください。

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

3. 通学キャンパス・授業時間帯（平成28年度参考）

文学部・神道文化学部のメインキャンパスは「渋谷キャンパス」です。なお、文学部・神道文化学部（フレックスB（昼間主）コース）・法学部・経済学部で、クラスが指定される科目の中には、1年次のみ横浜たまプラーザキャンパスでの受講科目があります。神道文化学部（フレックスA（夜間主）コース）のクラス指定科目については全て渋谷キャンパスでの受講となります。

時 限	渋谷キャンパス							時 限	横浜たまプラーザキャンパス						
	曜日 時間	月	火	水	木	金	土		曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1	8:50~10:20						共通	1	9:00~10:30						
2	10:30~12:00							2	10:45~12:15						
3	12:50~14:20		昼開講時間帯					3	13:05~14:35						
4	14:30~16:00							4	14:50~16:20						
5	16:10~17:40		共通時間帯					5	16:35~18:05						
6	17:50~19:20							6	18:15~19:45						
7	19:30~21:00		夜開講時間帯												

【フレックス開講制について（神道文化学部）】

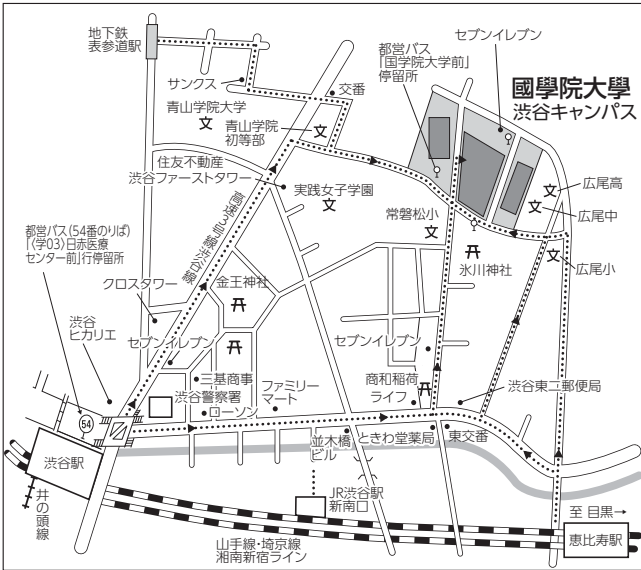
フレックス（昼夜）開講制は、コースによりクラス指定される科目を除き、授業時間帯やキャンパスを自由に選ぶことができます。

コースは、「フレックスA（夜間主）コース」または「フレックスB（昼間主）コース」のいずれか一方を出願時に選択します。可否の発表は出願時の登録に基づいて行いますので、選択したコースを出願後に変更することは一切認められません。また、入学後のコース変更も認められません。

【奨学金制度について】

「フレックスA（夜間主）コース」の入学者が、夜開講時間帯及び共通時間帯だけで受講する場合に対象となる奨学金制度があります。詳細はP.15を参照してください。

渋谷キャンパス



<所在地>〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10-28

<交通機関> 渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス<学03系統>「日赤医療センター
前」行き(運賃 現金180円・IC175円)
「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス

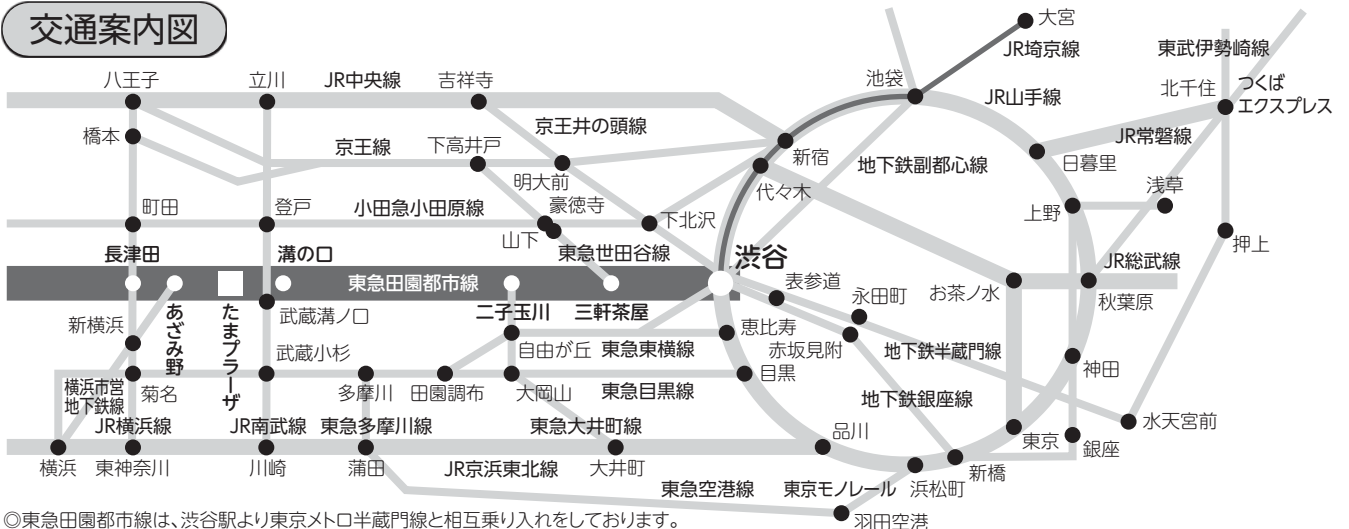


<所在地>〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

<交通機関> 渋谷駅より東急田園都市線(長津田・中
中央林間方面行き)にて約25分
(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしております。

4. 実施スケジュール ※第Ⅱ期は神道文化学部のみ実施

第Ⅰ期 文・神道文化学部	第Ⅱ期 神道文化学部	
出 願		
平成28年10月10日(月) ～17日(月) (消印有効)	平成29年2月1日(水) ～8日(水) (消印有効)	
試 験		
平成28年11月13日(日) 渋谷キャンパス	平成29年2月27日(月) 渋谷キャンパス	試験時間割 ※昼食を持参してください。
		10:00～ [日] 授業の受講、レポート・ 基礎学力試験 [史] 専門科目 [哲・神道文化] 小論文
		13:00～ 面接(1人約20分) ※受験に関する諸注意はP. 8にてご確認ください。
合格発表※		
平成28年11月24日(木)	平成29年3月6日(月)	受験者に対し、本人宛に結果を通知(郵送)します。なお、合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続期間		
平成28年11月25日(金) ～12月2日(金) (消印有効)	平成29年3月7日(火) ～10日(金) (消印有効)	手続期間内に学費等納付金を納入し、入学手続書類を大学へ提出することにより、入学手続が完了します。

※インターネットによる合格発表

正式な発表は、本人宛に送付する通知としますが、補助的な手段としてインターネットにて合格者の受験番号を公開します。

発表日の13:00より、下記アドレスにアクセスしてください(13:00直後はアクセスが集中し、つながりにくいことがあります)。

合格発表専用ホームページのアドレス

<https://www3.kokugakuin.ac.jp>

(スマートフォン版サイトでは閲覧不可。PC版サイトをご覧ください。)

5. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

① 開門時刻	9：00～ ※ <u>試験教室には試験開始30分前までに入室</u> してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。
② 受験票	<ul style="list-style-type: none">・ 出願された方全員に受験票を発送します。試験日の3日前になっても受験票が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。・ 試験当日は<u>必ず受験票を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。・ 試験中は受験票を机上に掲示してください。
③ 遅刻	<ul style="list-style-type: none">・ <u>遅刻は一切認めません</u>。事故などによって交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。
④ その他	<ul style="list-style-type: none">・ 面接試験は午後からとなりますので、<u>昼食を持参</u>してください。・ <u>時計は必ず持参</u>してください（通信・計算機能を備えた時計や携帯電話・スマートフォンの時計機能は使用不可）。また、試験時間中は必ず電子機器類の電源を切ってください。・ 鉛筆はHB・消しゴムはプラスチック製を使用してください。下敷き・定規・コンパスなどは原則として使用できません。・ 格言・和歌等が印字された筆記具等は使用できません。・ 試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。・ 喫煙はできません。・ 上履きを持参する必要はありません。・ 試験教室の下見はできません。

(2) 合格発表について（P.7参照）

出願者（受験者）全員に対し、本人宛に選考の結果を送付します（大学窓口での交付はしません）。合格者には必要書類を同封しますので、内容を確認し、所定の手続を行ってください。なお、配達区域により郵便到着に若干の時間差が生じる場合がありますのでご了承ください。

また、電話による可否の問い合わせには一切応じません。

(3) 入学手続について

合格通知書とともに送付する振込用紙にて、大学指定口座に学費等納付金を納入し、その振込受領書と入学手続書類一式を、手続期間内に大学宛に郵送（速達・簡易書留）することによって入学手続が完了します。なお、手続書類配達時の不在および郵便事情による遅配を理由とした入学手続の延期は一切認めません。

6. 入学試験要項

(1) 選考方法

《日本文学科》

① 授業の受講とレポート作成 (80分)

授業 (40分) を受け、授業に関するレポート (40分、800字程度) を作成する。

② 基礎学力試験 (30分)

古文に関する問題を解答する形式の試験を行う。

③ 面接試験 (約20分)

大学での勉学・研究に対する目的意識・修学意欲などについての面接を行う。

《史学科》

① 専門科目 (60分)

日本史 (2題)・考古学・東洋史・西洋史・地理 (各1題) 計6題のなかから2題選択。

② 面接試験 (約20分)

《哲学科》

① 小論文試験 (90分、1,000字程度)

あらかじめ次の課題図書のうち1冊を読んでいることを前提とした試験。課題図書は試験当日に持参すること。

【課題図書】

① トゥーゲントハットほか著、鈴木崇夫訳

『ぼくたちの倫理学教室』(平凡社新書)

② 鷲田清一著

『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫)

② 面接試験 (約20分)

大学での学問・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

《神道文化学部 神道文化学科》

① 小論文試験 (90分、1,000字程度)

② 面接試験 (約20分)

(2) 出願書類

出願書類の詳細についてはP. 11をご参照ください。

- ① 入学志願票
- ② 各種証明書（高等学校発行の卒業証明書等）
※各種証明書の氏名が旧姓の場合には、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。
- ③ レポート（800字程度）〔哲学科のみ〕【様式1】
【論題】
書籍一冊、ないし美術作品、映画等一点を取り上げ、それについて紹介しつつ、どのような点に深く関心を持ったのか、またその理由を示すこと。
なお、書籍の場合は第2次選考の課題図書とは異なるものを選び、書籍名・取り上げた作品名等は表題の欄に記入すること。
- ④ 自己推薦書【様式2】
〔日本文・史・神道文化学科〕800字以内で作成してください。
〔哲学科〕900～1,000字で作成してください。
哲学あるいは美学に対する自己の学修志向を含むもの。
- ⑤ 履歴書【様式3】

7. 出願書類・出願方法

① 入学志願票 【本学所定用紙】	「入学志願票記入例」(P. 12~13) を参照してください。 ★入学志願票を全て記入のうえ、入学検定料を振込み、提出してください。	
② 各種証明書	出願前3ヶ月以内に発行された書類を提出してください。	
	高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者、及び平成29年3月卒業見込みの者	出身学校長が発行した「卒業証明書」(学校所定用紙)
	高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定の合格者・合格見込者	「合格証明書」または「合格成績証明書」(合格見込者は「合格見込成績証明書」)
	外国における12年の課程を修了した者または修了見込者	「修了(見込)証明書」と「成績証明書」 ※日本と外国両方の高等学校に在籍した場合は日本の高等学校在学中の「調査書」も合わせて提出してください。
③ レポート [哲学科のみ] ★【様式1】	内容・文字数の指定はP. 10を参照してください。	
④ 自己推薦書 ★【様式2】	「大学での勉学・研究に対する目的意識と意欲」または「継続的な努力をしている活動内容とそれを大学での学修にどのように役立てられるか」等を自己推薦文として主張してください。内容・文字数の指定はP. 10を参照してください。 <u>なお、必ず表題を付けてください。</u>	
⑤ 履歴書 ★【様式3】	履歴書は高等学校卒業以降、現在までの経歴を漏れなく詳細に記入してください。	

- (1) 出願に必要な書類を全てそろえ、本学所定の出願封筒を使用し、速達・簡易書留で入学課宛に送付してください。
- (2) 様式1~3は、順番にならべ左上所定位置をホチキスでひとまとめに留めて提出してください。記入の際は、ペンまたはボールペンを使用してください(鉛筆書き不可)。
- (3) 全ての書類は出願者本人が作成してください。
- (4) 一度提出した書類および入学検定料は返還しません。

8. 入学志願票記入例 ※写真票・受験票もこれにならって記入してください。

以下は文学部哲学科に志願する場合の記入例ですが、他の学科もこれにならない、ペンまたはボールペンを使用して各票の太枠内をもれなく記入してください(網かけされている欄は未記入のままでも結構です)。なお、提出後の変更は一切認められませんので、ご注意ください。

- ★ 入学志願票を全て記入の上、入学検定料を振込み、出願してください。
- ★ 写真票には写真(縦4cm×横3cm)を、受験票には52円切手を必ず貼付してください。
- ★ 記入を間違えた場合は修正液(ホワイト)を使用しても構いません。但し、入学検定料(振込金額)を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行等の窓口で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。

國學院大學(推薦・特別選考)入学志願票

志願票

【年号対照表】

入試制度 出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。											
1 公募(AO) 経済学部以外	2 公募(AO) 経済学部	3 K-ENT方式 1 2 3	4 スポーツ	5 指定校	6 全商協会	7 社会人	8 神道・宗教	9 神職養成	10 神道学 専攻科	11 学士	11 一般編入
12 志望コード コード	13 活動コード イ ロ ハ	14 院友子弟	15 セカンド キャリア	16 別科I類	17 別科II類	18 推薦コード 1 4	19 出願種別 1: 神道 2: 宗教	20 外国人 留学生	21 系列・指定校 (推薦)	22 系列校 (選抜)	23 系列編入
【公募(AO)】 1: I類 2: II類		【公募(AO)】第1次選考免除[法文学科・中国文学科] 【公募(AO)】院友子弟[第2次選考筆記試験免除 (外国語文化学科)]		1: 希望する 2: 希望しない		国籍コード		日本留学試験受験番号			
I記入例に倣って該当欄に記入してください(選択項目には該当するものに○を付けてください)。											
志願データ											
受験番号											
入試コード Q14D											
学部・学科 文 日本文学・中国文・外国語文化・史・哲 神道文化 神道文化 法・法律 法律専攻・政治専攻 経済 経済・経済ネットワーク・経営 人間開発 初等教育・健康体育・子ども支援 神道学専攻科・別科神道専修I類・別科神道専修II類											
氏名 カナ トキワ マツシ 漢字 常磐 松司											
性別 ① 男 2 女 生年月日 1994/1/04 自宅 045-904-7700 携帯 080-9999-9999											
志願者住所 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1 〒225-0003 高等学校等コード 課程 学科 卒業年(西暦) 月 出身大学(短大)・学部・学科 卒業年(西暦) 月											
履歴 出身高等学校等 國學院 13550A / 1 / 201303											

切り離さないでください

西暦	和暦
1970	昭和45
1975	50
1980	55
1985	60
1986	61
1987	62
1988	63
1989	平成元
1990	2
1991	3
1992	4
1993	5
1994	6
1995	7
1996	8
1997	9
1998	10
1999	11
2000	12
2001	13
2002	14
2003	15
2004	16
2005	17
2006	18
2007	19
2008	20
2009	21
2010	22
2011	23
2012	24
2013	25
2014	26
2015	27
2016	28
2017	29

- ボールペンを使用して記入してください。間違えた場合は修正液を使用しても構いません。但し、入学検定料(振込金額)を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。
- 振込金額は、入試制度によって異なりますので、必ず要項でご確認ください。
- ATMからの振り込みはできません。必ず銀行等金融機関の窓口で手続きを行ってください。
- 取扱店の収納印が無いものは無効です。

個人情報取り扱い確認欄 個人情報の取り扱いに同意する(振込金額・住所・電話番号・本人保存)の記録を認め、同意しない場合は、必ず記入してください。	同意する <input checked="" type="checkbox"/> 同意しない <input type="checkbox"/>	入学検定料(振込金額) ¥35000	収納印 ①/4 入学検定料
---	---	-----------------------	---------------------

(1) 記入上の注意

- ① 氏名は常用漢字を使用し、楷書で記入してください。
- ② カナ氏名は、濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ③ 選択項目(入試制度・学部・学科・専攻・コース・性別等)は該当するものに○を付けてください。
- ④ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑤ 住所は結果通知等の送付先となるので、アパート・マンション名まで正確に記入してください(丁目・番地・号は「-」で記入してください)。
- ⑥ 電話番号は市外局番・局番・加入番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。

(2) 各種コード一覧

入試コード		I 期	II 期
日本文学科		Q 1 1 A	
史学科		Q 1 1 B	
哲学科		Q 1 1 D	
神道文化学科	フレックス A (夜間主)	Q 2 4 A	P 2 4 A
	フレックス B (昼間主)	Q 1 4 A	P 1 4 A

業種コード					
01	農・林・漁業・鉱業	08	不動産業	15	教育機関(09を除く職員等)
02	建設業	09	教員	16	国家公務員
03	製造業	10	報道・出版・広告	17	地方公務員(教員を除く)
04	電気・ガス業	11	ホテル・観光・レジャー	18	主婦・主夫
05	運輸・通信業	12	医療・保健機関	19	アルバイト
06	商業	13	研究・調査機関	98	無職
07	金融・保険業	14	社会福祉機関	99	その他

高等学校等 コード	高等学校等の進路指導部または本学入学課(03-5466-0141)へお問い合わせ いただくか、本学ホームページでご確認ください。 ※大学入試センター試験のコードと同様です。
--------------	--

課程コード	課程	全日制	定時制	通信制	その他
	コード	1	2	3	9

学科コード	学科	普通	商業	工業	農業	英語	総合	その他
	コード	1	2	3	4	5	6	9

9. 入学検定料

(1) 入学検定料の振込について

入学検定料

35,000円

※各期の出願開始日よりお振り込みください。

※第Ⅰ期、第Ⅱ期の両方に出願する場合に限り、入学検定料の減免措置があります。詳細はP. 4をご参照ください。

- ① 入学志願票に必要事項を全て記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等の窓口（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - ・振込依頼書は入学志願票と一連になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へお持ちください。
 - ・本学が指定する銀行（下記⑥参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄全てに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 「本人保存」は領収書となりますので、各自切り取って保管してください。
- ④ 出願の際には「志願票・写真票・受験票」を切り離さず、その他の出願書類とともに入学課宛に送付してください（詳細はP. 11をご参照ください）。
- ⑤ 一度納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。
- ⑥ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

みずほ銀行	渋谷中央支店	普通	No.1391131	三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通	No.8195674	りそな銀行	渋谷支店	普通	No.0093868

※ 不明な点は、入学検定料をお振込みの前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

(2) 大規模災害等にかかる平成29年度入学志願者に対する特別措置について

1. 対象者

災害救助法適用地域に主たる家計支持者が居住もしくは勤務し、被災した世帯の志願者

2. 入学検定料について

免除

3. 申請方法

出願書類とともに以下の2点を提出（同封）してください。

①大規模災害に伴う入学検定料特別措置申請書（最終ページ）

②公的機関が発行する「罹災証明書」(写し可)

注1. 書類に不備があった場合は入学検定料の免除の対象となりませんのでご注意ください。

注2. 公的機関が発行する罹災証明書を取得された方は金融機関で検定料を納める必要はありません。

注3. 出願後の申請は一切認めません。

10. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について

平成28年度参考。なお金額については変更となる可能性があります。

(単位：円)

学 部 別		文・神道文化学部		
費 目	納 期	全 納 (年額)	分 納	
			入学手続時	9月 (後期分)
学 費	入 学 金	260,000	260,000	
	授 業 料	700,000	350,000	350,000
	施設設備費	201,000	100,500	100,500
	維持運営費	10,000	10,000	
	小 計	1,171,000	720,500	450,500
諸 費	若木育成会費	29,000	29,000	
	若木学友会入会金	1,000	1,000	
	若木学友会費	5,300	5,300	
	院友会 (同窓会) 入会金	10,000	10,000	
	國學院雑誌代	2,000	2,000	
	小 計	文 学 部 神 道 文 化 学 部	47,300	47,300
合 計	文 学 部 神 道 文 化 学 部	1,218,300	767,800	450,500
			1,218,300	

- 備考 1. 教員免許等各種資格の取得を希望する場合は、上記以外に別途費用が必要となります。
 2. 上表のうち、國學院雑誌代については消費税分を含んだ金額となっております。
 3. 分納した場合は、夏休み中 (8月上旬) に後期分の振込用紙を保証人 (ご父母) 宛に送付します。
 4. 入学後の学費等納付については、毎年4月に振込用紙を保証人 (ご父母) 宛に送付します。

(2) フレックスコースの学費等納付金について (神道文化学部)

フレックス開講制のいずれのコースに入学しても学費等納付金は同額です。ただし、フレックスA (夜間主) コースの在籍生を対象に、月～金曜日の5～7時限及び土曜日1～7時限の科目のみで授業を履修し、本学の定める出願資格を満たした学生に、40万円を給付する「フレックス特別給付奨学金」制度を設けています。**有資格者は入学後所定の期間に出願手続をしてください。**詳細は学生生活課 (03-5466-0146) にお問い合わせください。

※この奨学金を希望する場合には、**出願時に必ず「フレックスA (夜間主) コース」を選択してください。**

【入学手続完了後の辞退について】

入学手続を完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、平成29年3月31日(金)17時までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続方法』に記載します。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

1200▲																				
1300▲																				

キ
リ
ト
リ

注 (参考文献)	
-------------	--

(別紙)

(大学記入欄)

整理番号

平成 年 月 日

國學院大學学長 殿

大規模災害に伴う入学検定料特別措置申請書

平成29年度入学試験の受験に際し、入学検定料特別措置の申請をいたします。

志願者	フリガナ名 氏	〒 - 電話	印
	現住所		

保護者(現家計支持者)	フリガナ名 氏	〒 - 電話	印
	現住所		

被災原因	※罹災証明書記載の原因を記入してください。
------	-----------------------

■被災状況（以下の項目から該当するものを○で囲んでください。）

- 被災当時の家計支持者の死亡
- 被災当時の家計支持者が居住する家屋の（ 全壊 ・ 全焼 ・ 流失 ）
- 被災当時の家計支持者が居住する家屋の（ 半壊 ・ 半焼 ・ 一部損壊 ）
- その他（ ）

(注)

- 「罹災証明書」(写し可)と合わせ、出願時に提出してください(出願後の提出不可)。
- 特別措置申請書は必ず志願者及び保護者捺印のうえ、提出してください(複写は不可)。

